

| 項目 | | 説明 |
|---------------------------------------|--|--|
| 試料・情報の利 用目的 及び 利用方法 | 研究課題名 | マンテル細胞リンパ腫の治療選択についての検討 |
| | 研究目的 | マンテル細胞リンパ腫（MCL）は本邦の悪性リンパ腫の約 3%程度を占めるまれな B 細胞リンパ腫であり、強力治療によっても長期生存が得られにくいことが知られています。以前我々は若年での初回治療として R-hyperCVAD/MA 療法の有用性を検討、報告しましたが、同時に副作用が強すぎる懸念もみられました。その後海外の臨床試験の報告に基づき、R-DHAP 療法を導入療法として、その後地固め治療として自家移植およびリツキシマブ維持療法を行っているが、その実臨床での有用性・安全性については十分に確認できていません。また、移植の施行が困難な高齢患者においては、初回治療ではベンダムスチンが、さらに再発後治療としてイブルチニブが使用可能となっており、実臨床において治療選択に迷うことが少なくありません。本研究は当院で診断、治療された MCL 患者のデータを後方視的に検討し、実臨床における各治療レジメンの特性および患者背景を解析することを目的としたものです。 |
| | 研究対象者 | 2010 年 06 月から 2021 年 06 月に当センター血液・腫瘍内科にてマンテル細胞リンパ腫と診断され、化学療法を受けた患者さん。 |
| | 研究期間 | 西暦 2021 年 10 月 4 日 ~ 西暦 2024 年 12 月 31 日 |
| 利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します) | <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 | |
| 試料・情報の 管理について の責任者 | 当センター 研究責任者 | 血液・腫瘍内科 部長 酒井 リカ |
| 試料・ 情報を 利用す る者の 範囲 | 当センターでの実施診療科/部局等 | 血液・腫瘍内科 |
| | 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者 | 該当せず |